

美術博物館の催し



開館30周年記念

コレクション展 「絵画はつづく、今日にむかって」

絵画作品を「モチーフ」(描かれる対象や主題、制作の動機)という視点から紹介します。「何を」「どう」描くか、そして「何がいい絵なのか」という、画家たちが探求した絵画の問題に迫ります。約80作品を展示予定。



山崎つる子《作品》1964年 ラッカ一、布 芦屋市立美術博物館蔵

■期間 9月18日～11月21日

コレクション展関連イベント

講演会「絵画のみかたーフォーマリズム入門」

何が描かれているかではなく、色彩や線、絵の具の様子などの造形的な観点から絵画の魅力に迫る鑑賞の方法を紹介します。



小出卓二《渡船場》1942年 油彩、布 芦屋市立美術博物館蔵

■日時 10月2日(土)午後1時～3時
■会場 講義室 ■定員 60人 ■講師 川田都樹子氏(美術批評家)

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434 (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

谷崎潤一郎記念館の催し



秋の特別展

「細雪」、日常への憧憬(オマージュ)

文豪谷崎の名作「細雪」が描く、なにげなくも愛おしい日々の暮らし。至高の筆致で書き遺された、うしなわれゆきつつある日常を味わいます。



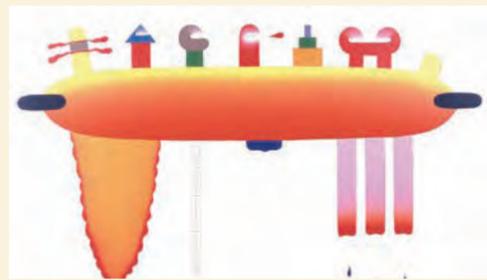
「細雪」初版本

■期間 9月11日～12月5日

コレクション展関連イベント 学芸員とギャラリートーク

作品から感じたことや考えたことを自由に対話しながら鑑賞を深めます。

■日時 9月26日(日)
午後2時～3時



元永定正《うえのかたちはななつ》1988年 アクリル、布 芦屋市立美術博物館蔵

コレクション展関連イベント ワークショップ

「動きを描くーダンシング×クロッキー」



過去のダンシング×クロッキー実施風景2018年 岸本恵美子個展、ギャラリー風

クロッキーとは短い時間ですばやく対象を描いていくこと。今回はダンサーが躍る様子をクロッキーします。無心で手を動かす楽しさや、自分の意図をこえて画面に現れる線の面白さを味わいます。

■日時 10月9日(土)午後4時30分～7時 ■会場 エントランスホール ■定員 20人(高校生以上) ■出演 ナビゲーター：岸本恵美子(画家)/伊藤愛(ダンサー)・稲田誠(コントラバス奏者) ■持ち物 画材やクロッキー帳(詳細はホームページ) ■申し込み 9月25日までに氏名・住所・連絡先を電話またはメールにて美術博物館へ(応募多数抽選)。

「芦屋の歴史と文化財展」

芦屋の歴史を古代・中世・近世・近代に分けて歴史資料を紹介。国史跡指定10周年を迎えた会下山遺跡の展示なども行います。



会下山遺跡出土の弥生土器

■期間 ～11月21日
■会場 歴史資料展示室

秋のロビーパネル展 「細雪」、あの人・この場所

「細雪」には、谷崎作品には珍しく多くの人物が登場します。そんな名作を彩る人々のモデルたちを中心に、写真パネルで紹介いたします。



「細雪」のモデルたち

■期間 9月11日～11月14日
■会場 当館ロビーギャラリー

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244/eshiya-tanizakikan@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) ※9月7日～10日は展示入替のため休館 【観覧料】一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料 ※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額